

い

じ

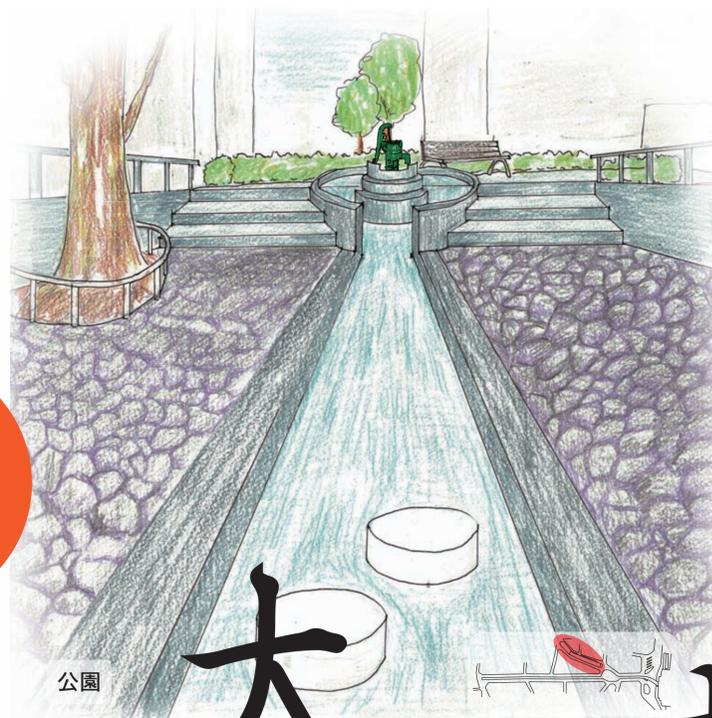
ぼ

た

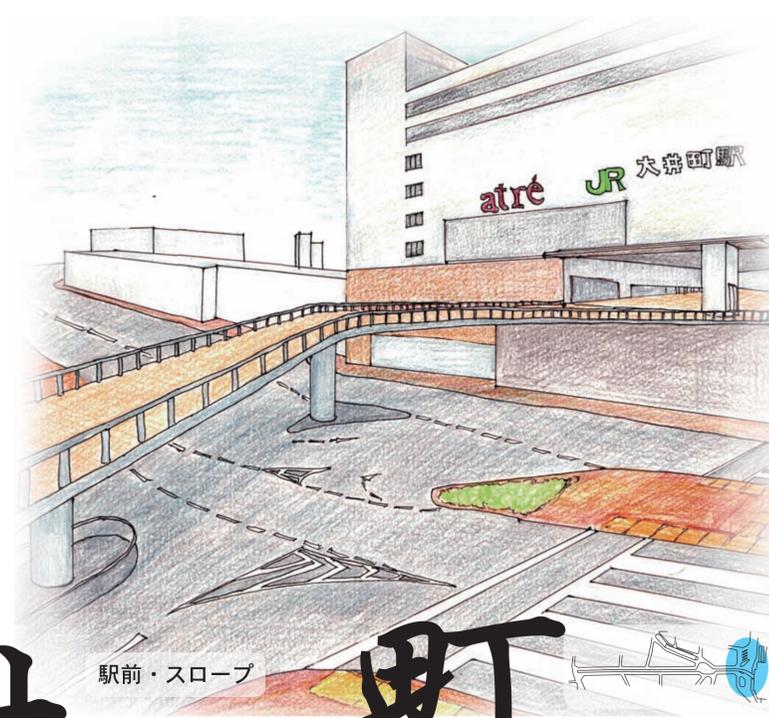
大井町



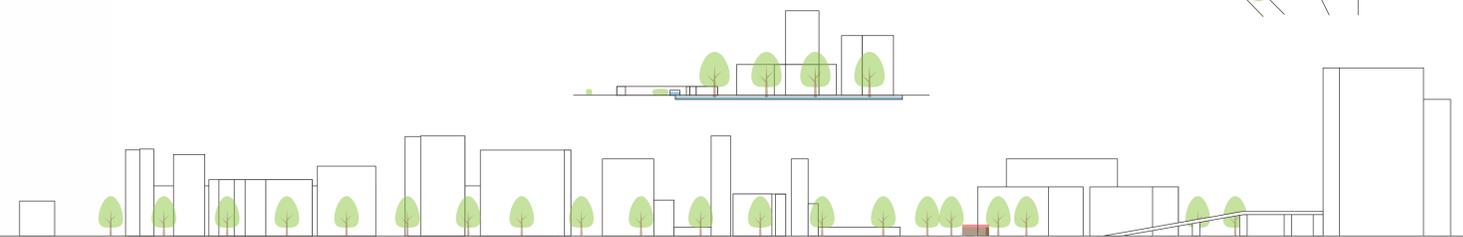
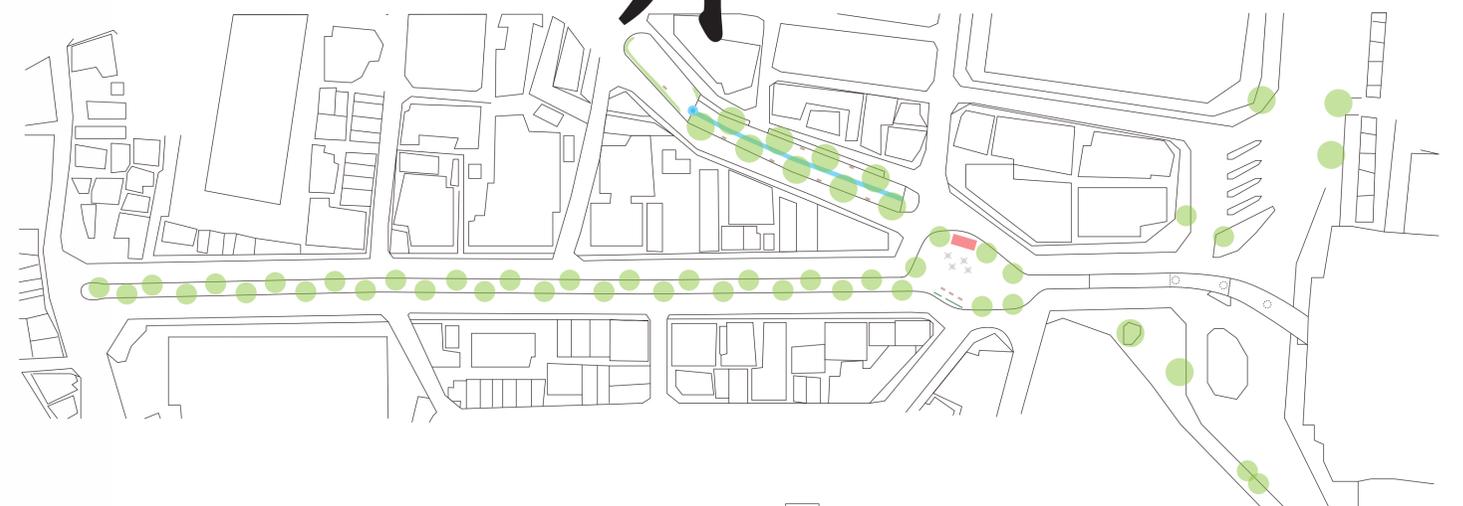
中央広場



公園



駅前・スロープ



配置図・断面図 1/100 スケール

憩いの場となる広場へ人々が集まり、そこが大井町の交流場になるような通りにしようと考えました。大井町駅（アトレ）から出て、西の方に駅から大きく繋がるようなデッキを設置し、緩やかに曲がるスロープを通り広場へ。広場には、カフェ、大井町のイベントなどを書ける黒板があり、テーブルなどもあるので、そこで人々が交流をします。この広場の割きには並木道が伸びています。広場から北西の方向にあった公園を改良し、元々暗渠になっている立会川の水系をなぞるように水路を設定し、その奥には名前の由来になっている井戸も設置しています。ここでは、親子、お年寄りの方々が気軽に寄れる場として利用してほしいと考えます。

～人があつまる大井町駅前中央通りアイデアコンペ～

提案要旨説明書

■作品タイトル

いどばた大井町

■提案要旨

私達が初めて大井町に行った時、駅からまっすぐに伸びる大通りが、とても印象に残りました。そこから、大通りを通して大井町の人々を結ぶようなデザインができないかと考えました。

憩いの場となるような大きな広場、そこで人々が交流し、大井町の絆を深める。それは、井戸端で世間話をする人々を連想させ、昔ながらのコミュニケーションを彷彿とさせます。私達はその井戸のような場を目指しました。

大井町駅(アトレ)から出て、西の方に駅から大きく繋がるデッキを設置し、そこから伸びるスロープで広場へ向かいます。そこには、小さなカフェや、大井町の情報を書き込むことができる黒板(掲示板)があり、テーブルや椅子、ベンチなども設置してあるので、少し立ち止まり、お茶や話をしながら大井町のことを知ってもらうことができます。この広場の先には、並木道が伸びており、人に歩きたいという気持ちを起こさせます。

広場から北西の方向にあった公園は、元々暗渠になっている立会川の水系をなぞるように水路を設定し、その奥のフリースペースには、大井町の名前の由来となっている井戸も設置しています。そこでは、親子で水遊びをしたり、フリースペースで遊んだりでき、また、段差が以前より少なくすることで、お年寄りの方々も安心して立ち寄れる場になっています。

※なぜこのような提案としたのかという理由や、特に工夫した点、アピールしたい点などを自由に記載してください。